

蒲田東口地区まちづくり協議会 放置自転車対策の検討

主に都心駅周辺での放置自転車問題は長年の懸案となっています。蒲田駅においても、これまで、行政による自転車駐車場の整備や指導員の導入などの対策を講じてきましたが、自転車利用者の増加に対応できていない状況です。

蒲田東口においては、この間、行政の対策のほか、自転車の斜め置きなど、地元の取り組みにより、一定の成果が出てきたところですが、根本の解決に至っていません。

自転車は、環境に優しく手軽に利用できる交通手段ですが、放置された自転車は、歩行者通行の妨げ、緊急時の弊害、まちの景観への影響もあり、自転車利用に対応できるまちづくりを進めていくことが求められています。

蒲田東口地区まちづくり協議会では、まちづくり活動のテーマを「蒲田駅東口地区の放置自転車対策」として、昨年度から、これまでの対策の見直しや近隣地域の視察なども行いながら検討を進めてきました。今年度、蒲田東口地区に特化した、地域での取り組みや行政への提案事項などをまとめる予定です。

蒲田東口地区のより良いまちを目指して、安全な歩行者空間を確保し、快適な自転車利用環境をつくるため、この放置自転車対策に基づいた活動を行ってまいります。

● 平成 22 年度のまとめ ●

1. 蒲田東口の放置自転車の実態と特性からの課題抽出

- ⇒ 買い物目的の自転車駐車場の不足
- ⇒ 放置禁止区域外側の放置自転車
- ⇒ 安全な歩行者空間、自転車走行空間の不足
- ⇒ 京急蒲田駅周辺整備に伴う自転車駐車場の確保

2. 放置自転車対策の先進事例（綾瀬駅、赤羽駅）の視察

綾瀬駅

- ・ 買い物目的利用者の 2 時間無料サービス
- ・ 民間事業者による管理・運営の成立
- ・ 多様な駐車場空間の確保

赤羽駅

- ・ JR 関連会社による管理・運営
- ・ 鉄道高架下商業施設屋上スペースの活用
- ・ 附置義務自転車駐車場の一般解放

3. 放置自転車対策の方向性と取り組み

【3つの方向性】

■ 自転車駐車空間の創出

- ① 多様な整備手法による小規模分散型自転車駐車場の配置
- ② 附置義務自転車駐車場の整備強化
- ③ 民間事業者による整備促進

■ ルール・マナーの徹底

- ④ 蒲田東口地区独自のポスター等の作成
- ⑤ 啓発ツールの作成と効果的な配布

■ 放置させない環境づくり

- ⑥ 放置禁止区域の拡大
- ⑦ 放置自転車の撤去強化
- ⑧ 違法占用物件の排除

【8つの取り組み】

平成 23 年度の検討状況

蒲田駅東口地区の放置自転車対策の考え方

◎ 解決の方向性

- ⇒ 放置自転車の規制・撤去・保管
- ⇒ 自転車駐車場利用料金
- ⇒ 民間事業者の管理・運営参入
- ⇒ 自転車駐車場スペースの確保

◎ 解決案の区分

- ① 協議会（地域）が主導する取り組み
- ② 行政と連携する取り組み
- ③ 行政等へ提案・要望する取り組み

「蒲田駅周辺まちづくりワークショップ」への参加

11月10日開催 ● テーマ「東西自由通路」「自転車駐車場」「駅前広場」
・ 自転車駐車場に関する意見等を参考

ー 蒲田東口地区の放置自転車対策案まとめの構成（案）ー

★ 目標の設定

1. 自転車駐車場スペースの確保

- 路上自転車駐車場の整備
- 低利用率の自動車駐車場の転用
- 公共空間などの立体・複合的利用

2. 多様なニーズに対応した自転車駐車場

- 短時間無料制の導入
- 附置義務制度条例の改正
- 民間事業者の参入

3. 放置させない環境整備

- 放置禁止区域の拡大
- 撤去効率化による抑止力の向上
- 撤去の強化

4. 利用者へのルールの徹底・広報・啓発

- 店舗・集客施設からの駐車場案内
- 路面表示による抑止
- 自転車駐車場マップの効果的な配布

具体的な検討